

年長組大型製作

(うみのなかのなかまちゆうえんち OPEN 編)

それぞれのグループの製作が進む中で、早く遊びたいというわくわくする気持ちが高まっています。「うみのなかのなかまちゆうえんち」という遊び場の名前も、皆で相談して決めました。完成してまずは自分たちで遊びますが、その後、自分たちで遊ぶだけでなく、お客さんを招待したいと、お家の方、年少はな組、未就園児の会にし組のお友達に来てもらいました。

自分たちで遊ぼう！



完成後、まずは自分たちで遊びます。頑張って製作してきた分、遂に自分たちの遊園地で遊べるのが嬉しくて仕方ありません。そして、その嬉しい気持ちが次第にお客さんを招待する意欲や期待へとつながります。

また、遊びながら「役割を順番に交代して行う」「このタイミングで友達に声を掛ける」「安全に遊ぶためには動かないようにしっかり押さえる」「大人は重いから力が必要」等、お客さんを招待した時に必要なことに気付いていきます。遊んでいる時に壊れたところは次に向けて修理もしました。

お家の方を招待しよう!



お家の方に遊びに来てもらうということで、特別に張り切って「うみのなかのなかまちゆうえんち」をOPENしました。お客さんになったお家の方を案内したり、乗り物を運行したりして、「遊園地の係の人」という役割を果たしていきます。また、お家の方が自分たちの作ったアトラクションで遊んでいるのを嬉しそうに見ています。大人は重いので(!?) 力仕事でしたが、皆が最後まで頑張ることができました。その後の懇談会で、保護者の方から素敵なお感想をたくさんいただきました。

年少はな組さんを招待しよう!



前日に「うみのなかのなかまちゅうえんち」の招待状を皆ではな組に届けに行きました。製作過程を見学し「つき組さんが何か楽しいことをやっているな…」と気になっていたはな組の子どもたち。ご招待に大喜びです。

当日、子どもたちの希望で、オープンのアナウンスも自分たちでやりました。「うみのなかのなかまちゅうえんちが始まります。遊びに来てください!」





はな組の子どもたちを優しく案内したりリードしたりするつき組の子どもたち、つき組のお兄さん、お姉さんに温かく迎えてもらい、ニコニコが止まらないはな組の子どもたちでした。最後は皆で「ありがとうございました」「どういたしまして」と伝え合い、はな組の子どもたちを見送りました。

皆で片付けをしよう!



「皆で遊べる遊園地を作ろう」と相談を始めてから、1か月にわたる大型製作の活動も終わりを迎えます。最後は自分たちで作ったものや場を解体し、「うみのなかのなかなかまちゅうえんち」からいつもの中町幼稚園に戻します。

いよいよ最後の日…これから片づけるぞ…という時に、年少はな組さんから「ペンギンとシャチの乗り物をください」というお願いが！つき組の子どもたちは快く2つの乗り物を譲ってくれました。その後、ペンギンとシャチの乗り物は、はな組の子どもたちが2学期終わりまで、たくさん乗ったり、遊んだりしていました。



「うみのなかまちゆうえんち」という目的に向かって、友達と力を合わせて製作したり、世界に一つしかない自分たちの遊園地でたくさん遊んだり、お客さんを招待して喜んでもらったりして、満足感！充実感！達成感！いっぱいの子どもたちは、片付けも最後まで頑張りました。長い間取り組んできた大型製作の活動もついに終わりとなりました。

最後に皆で記念撮影！



片付けが終わった、最後の最後に記念写真を撮りました。皆、いい笑顔をしています。大きな活動をやり遂げ、自信になったという表情です。そのパワーでこれからの園生活も頑張ろう！つき組！！

大型製作にあたり、中町幼稚園の近所にある、いつも電気シバコー様、吉野サイクル様から大きな段ボールをたくさんいただきました。ご協力本当にありがとうございました。